

履修モデル

以下の履修モデルは、各分野に沿って作成した履修計画例です。このとおり履修する必要はありませんが、履修登録の参考にしてください。

◆臨床心理学専攻

区分	心理学既習者	心理学未習者	備考
	授業科目の名称	授業科目の名称	
基礎科目群	老年心理学特論 人格心理学特論 社会心理学特論 教育心理学特論	[老年心理学特論または社会心理学特論] [認知心理学特論または人格心理学特論] 心理臨床統計法特論 教育心理学特論	4単位 以上
基幹科目群	臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ	臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ	必修 18単位
発展科目群	臨床心理学研究法特論 精神医学特論 投影法特論 司法・犯罪心理学特論 福祉心理学特論 産業心理学特論 家族心理学特論 心理教育特論 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ <修士論文>	臨床心理学研究法特論 [精神医学特論または犯罪臨床特論] 投影法特論 司法・犯罪心理学特論 福祉心理学特論 産業心理学特論 家族心理学特論 心理教育特論 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ <修士論文>	必修8単位を含む 14単位 以上

*[]付きの科目は、いずれかの科目を履修することを示している。

◆犯罪心理学専攻

区分	心理学既習者	心理学未習者	備考
	授業科目の名称	授業科目の名称	
基礎科目群	[応用人格心理学特論または刑法特論] 応用社会心理学特論 心理統計法特論	応用人格心理学特論 刑法特論 心理統計法特論	4単位 以上
基幹科目群	犯罪心理学原論 法心理学特論Ⅰ 法心理学特論Ⅱ 司法臨床心理学特論Ⅰ 司法臨床心理学特論Ⅱ 犯罪心理学特論 犯罪心理学演習Ⅰ 犯罪心理学演習Ⅱ	犯罪心理学原論 法心理学特論Ⅰ 法心理学特論Ⅱ 司法臨床心理学特論Ⅰ 司法臨床心理学特論Ⅱ 犯罪心理学特論 犯罪心理学演習Ⅰ 犯罪心理学演習Ⅱ	必修 16単位
発展科目群	[刑事政策特論または宗教倫理学特論] [捜査心理学特論または被害者学特論] 供述心理学特論 矯正心理学特論 犯罪心理学研究Ⅰ 犯罪心理学研究Ⅱ <修士論文>	[刑事政策特論または宗教倫理学特論] [捜査心理学特論または被害者学特論] [供述心理学特論または精神病理学特論] 矯正心理学特論 犯罪心理学研究Ⅰ 犯罪心理学研究Ⅱ <修士論文>	必修8単位を含む 14単位 以上

*[]付きの科目は、いずれかの科目を履修することを示している。